ラストスパート

第２１０号（2010.5.24）
発行　　米子北陸上部

高校総体展望！

牧の八種！全国を見据えた好記録を期待

注目の男女短距離

2011 鳥取県高校総体 展望 ■5□

陸上

八種 牧（米子北）県新狙う

女子跳躍 萩原（倉吉東）藤井（倉吉西）ら記録期待

（28〜30日・コカ・コーラ陸上競技場）

昨年の沖縄インターハイでは入賞者ゼロという結果に終わったが、国体で2人、日本ユースで1人の入賞者を出して何とか鳥取陸上の底力を示すことができた。本年も非常に厳しい戦いで、特に男子は厳しいが、八種競技で進境著しい牧（米子北）に全国入賞の期待がかかる。さらに今後大会ごとに成長していく跳躍、投てき陣に期待する。女子では走り高跳びの萩原（倉吉東）、七種競技の厨子（鳥取城北）、走り幅跳びの藤井（倉吉西）、1500㍍、3000㍍の前川（鳥取育英）らに全国レベルでの活躍を期待する。

男子27校361人、女子23校192人のアスリートが「2011北東北総体」の第1関門に臨む。高校生らしい精いっぱいの頑張りで、東日本大震災で大きな被害を受けた北東北地方の高校生アスリートにエールを送りたい。6位までが6月17〜19日に今秋国体開催で新装なった山口市維新百年記念公園陸上競技場で行われる中国大会に出場する。競歩と混成競技は4位まで。

【男子】100㍍、200㍍は陣在（八頭）吉持（米子松蔭）原田（米子北）を中心に激戦。勝負強い陣在がややリードか。10秒8台と21秒台を期待。400㍍も混戦。岸田（鳥取城北）米嶋（鳥取城北）を茂手木（鳥取東）が追う。岸田が一歩リード。49秒台前半を期待。800㍍は田村（鳥取育英）田中（鳥取育英）と藤原（米子東）の争い。そこに溝口（八頭）が入り、大混戦が予想される。1分57秒あたりを期待。1500㍍も混戦模様。田村（鳥取育英）浜吉（八頭）山本（八頭）あたりを中心にレースが展開。3分台を期待。5000㍍は藤原（鳥取城北）水野（鳥取城北）が引っ張り、植田（米子松蔭）山本（八頭）が追い掛ける。14分台のレースを期待。

110㍍障害は秋本（鳥取西）牧（米子北）に昨年の鳥取全国中学入賞の1年生渡辺（倉吉東）が挑む。15秒台前半を期待。400㍍障害は手石（倉吉東）がリードし、野島（倉吉総合）が追う。54秒台を期待。3000㍍障害は勝田（鳥取育英）と北村（鳥取城北）の一騎打ちか。9分20秒を切りたい。5000㍍競歩は西村（八頭）城本（八頭）の一騎打ち。全国につながる22分台を期待。400㍍リレー、1600㍍リレーは激戦。鳥取城北、倉吉東が一歩リードし、八頭、鳥取育英、倉吉総合、米子東、境が激しい入賞争いを展開する。6位入賞をかけて死力を尽くす感動のレースが見られそう。

走り高跳びは永見（境）と野々村（境港総合）が2㍍00を狙う。棒高跳びは福井、福田、山脇の倉吉総合トリオに4㍍50以上、走り幅跳びは前垣（米子東）に7㍍00以上を期待。三段跳びは神戸（八頭）がリード。14㍍以上を期待。砲丸投げは混戦。徳持（鳥取城北）を中心に羽富（境港総合）西山（鳥取東）が迫る。12㍍以上を狙う。円盤投げは福井（倉吉総合）前田（倉吉総合）に黒田（鳥取西）が40㍍ラインで優勝争い。ハンマー投げは広瀬（倉吉総合）がリード。手石（倉吉北）と前田（倉吉総合）が加わり、55㍍ラインを目指す。やり投げは小椋（倉吉総合）前田（倉吉総合）門脇（倉吉北）が55㍍以上を狙う。そこに中村（岩美）が挑む。八種競技は高校県記録保持者の牧（米子北）が5000点以上の県新記録を狙う。投てき種目での得点の上乗せが全国入賞の鍵となる。

総合優勝争いは棒高跳び、投てき4種目で大量得点を狙う倉吉総合が優位。1970（昭和45）年の倉吉工時代以来41年ぶりの総合優勝を狙う。鳥取城北、八頭、鳥取育英あたりがそれを追う。

【女子】100㍍、200㍍ともに混戦。徳田（鳥取城北）井上（米子北）山田（米子東）柴田（倉吉東）あたりがし烈な優勝争いを演じる。伸び盛りの1年生井上が台風の目となりそう。12秒前半と25秒前半の記録を期待。400㍍は竹本（鳥取育英）太田（鳥取育英）吉田（鳥取西）が激戦を展開。そこに1年生の安田（倉吉総合）が果敢に挑戦する。58秒台を期待。800㍍も混戦。1年生の谷口（鳥取東）や西墻（鳥取東）安田（倉吉総合）が積極的なレースを展開し、激しいラストスパートでの優勝争いを演じる。3年生江谷（鳥取東）も虎視眈々と優勝を狙う。2分17秒台を期待。1500㍍、3000㍍は前川（鳥取育英）がリード。葛山（鳥取東）小倉（鳥取東）と花房（鳥取城北）夢野（鳥取城北）がそれに続き、激しい上位争いをする。1年生の岡本（鳥取育英）の走りにも注目。前川には全国につながる4分20秒台と9分20秒台を期待。

100㍍障害は厨子（鳥取城北）が14秒5を狙う。田中（鳥取城北）市村（鳥取西）が追う。400㍍障害は市村（鳥取西）吉田（鳥取西）に1年生の広賀（倉吉総合）が挑む。1分3秒台を期待。競歩は本年より5000㍍に距離が延び、し烈な入賞争いが展開されそう。横山（鳥取西）が一歩リード。400㍍リレー、1600㍍リレーは鳥取城北、鳥取育英がリード。48秒台と3分50秒台を狙う。倉吉東、鳥取西、倉吉総合、境が激しい上位争いを展開する。

走り高跳びは全国クラスの萩原（倉吉東）に1㍍70以上の記録を期待。走り幅跳びは中国チャンピオンで安定感のある藤井（倉吉西）に5㍍80以上の全国入賞ラインの記録を期待。砲丸投げ、円盤投げは岡田（鳥取城北）がリード。12㍍、38㍍以上の投てきを期待。やり投げは1年生ながら40㍍スロワーの田中（倉吉総合）に高校県記録（41㍍89）の更新を期待。盛田（鳥取城北）と川口（倉吉東）も40㍍以上を狙う。七種競技は厨子（鳥取城北）に全国レベルの4500点を期待する。

総合優勝争いは、選手層が厚く、全種目にわたって満遍なく得点できる鳥取城北の初優勝が濃厚。続くのは鳥取育英、倉吉東、八頭あたりで、し烈な上位争いを展開しそう。（新田明彦）

日本海新聞

平成２３年５月２４日